



神戸市シルバーカレッジ

令和8年度 学生募集要項



出願期間：令和8年1月19日（月）～1月30日（金）

神戸市シルバーカレッジ

〒651-1106

神戸市北区しあわせの村1番16号

電話 (078) 743-8100

FAX (078) 743-8103



神戸市シルバーカレッジ

検索



令和8年度 学生募集要項

1. 出願資格

(1) 神戸市内に住所を有する57歳以上の方（昭和44年4月1日以前に生まれた方）で、当カレッジのモットー「再び学んで他のために」を尊重し、学習意欲に富み、通学や各種講義に参加する健康を有し、地域活動、ボランティア活動などの社会貢献をすることに理解と熱意のある方であれば出願できます。

(2) 再入学について

当カレッジを卒業された方（令和8年3月卒業予定者を含む。以下、「卒業生」）または途中退学された方（以下、「退学者」）が対象です。除籍者は除きます。

＜再入学の条件＞

- ① 定員は各コース・専攻とも再入学者枠は5名です。
- ② 卒業生が出願できるのは、卒業したコース以外のコースに限ります。
※ただし、健康福祉コースの卒業生は健康ライフコースに、生活環境コースの卒業生はECOライフコースに出願することができます。
※総合芸術コースの卒業生は、卒業した専攻以外の専攻であれば出願することができますが、出願した専攻の定員が満たない場合のみ対象となります。
- ③ 退学者は全てのコース・専攻に出願できます。
- ④ 再入学時も1年生から3年間の学習期間となります。
- ⑤ 再入学は1回限りです。

2. 募集するコース・専攻と定員

コース 専攻名	健康ライフ コース	国際交流・ 協力コース	ECOライフ コース	総合芸術コース				合計
				美術・工芸 専攻	音楽文化 専攻	園芸専攻	食文化 専攻	
定員	100名	100名	100名	35名	35名	35名	35名	440名

※生活環境コースはECOライフコースに名称変更しました。（令和6年度入学者より）

※各コース・専攻とも再入学者枠5名を含みます。

3. 入学金・受講料等

コ ー ス 名			健康ライフ コ ー ス	国際交流・ 協力コース	ECOライフ コ ー ス	総 合 芸 術 コ ー ス			
専 攻	入 学 金	受 講 料				美術・工芸 専 攻	音楽文化 専 攻	園芸専攻	食 文 化 専 攻
入 学 金			6,000円						
受 講 料			70,000円／年			77,000円／年			

※入学金は、入学手続き時に納付いただきます。納付後に入学を辞退されても返金はありませんので、あらかじめご了承ください。

※受講料は、入学後に年額を一括あるいは二分割で納入いただきます。

（納入方法につきましては別途ご案内いたします）

※入学金・受講料以外に教材費・材料費等が必要な場合は、別途実費で負担いただきます。

※自動車で通学される場合はしあわせの村駐車場代として1日500円が必要となります。

回数券や、シルバーカレッジ学生専用駐車場定期券（有効期間1年間）もあります。

4. 出願手続

(1) 出願期間

令和8年1月19日（月）午前10時から1月30日（金）午後4時まで

(2) 提出書類

当カレッジ所定の入学願書（当要項添付の用紙を利用してください）

※シルバーカレッジホームページからオンラインで出願することもできます。

(3) 出願方法

① **持参** 出願期間内（土日祝を除く）にシルバーカレッジ事務局に本冊子の巻末の願書を持参してください。（受付時間：午前10時から午後4時まで）

② **郵送** 本冊子の巻末の願書を出願期間内にシルバーカレッジ事務局に到着するように郵送してください。（**1月30日（金）必着**）

③ **ホームページ**（※再入学の方はホームページからの出願はできません）

・ 出願期間内にシルバーカレッジのホームページ「学生募集」からメールアドレスを登録してください。（**1月30日（金）午後3時まで**）

・ 登録されたメールアドレスにエントリーフォームのURLが記載されたメールが自動送信されます。

・ メールからエントリーフォームを開き、必要事項を入力後送信してください。（**1月30日（金）午後4時まで**）

・ 送信後、受付完了のメールが自動送信されます。

※スマートフォン、タブレット端末からでも出願できますが、一部の機種に対応していない場合があります。

(4) 受付確認票・受付確認メールの発行

入学願書受付時に「受付番号」を記載した受付確認票をお渡しします。出願結果の通知が届くまで保管してください。

① 入学願書を持参された場合はその場でお渡しします。

② 郵送の場合は後日郵送します。

③ ホームページから出願された場合は、自動送信された受付完了のメールを受付確認票として保管してください。

(5) その他

① 出願後の希望コース・専攻の変更はできません。

② 入学願書の記載内容が事実と相違することが判明した場合は、入学を取り消す場合があります。

5. 入学者の決定

(1) 初めて入学を希望される方

① 各コース・専攻とも第1希望の出願者数が定員を超える場合は抽選により入学者を決定します。

② 上記入学者の決定後、定員に達していないコースについては第2希望の出願者の中から抽選により入学者を決定します。

(2) 卒業生で再入学を希望される方

(A) 卒業コース以外のコースを希望される方

① 各コース・専攻とも第1希望の出願者数が5名を超える場合は抽選により決定します。

上記「(1)初めて入学を希望される方」の決定結果で定員に達していないコース・専攻がある場合は、6名以上の再入学者を決定する場合があります。

② 上記入学者の決定後、定員に達していないコースについては第2希望の出願者の中から抽選により入学者を決定します。

(B) 総合芸術コースを卒業し、総合芸術コースの他の専攻を希望される方

上記「(1)初めて入学する方」及び「(A)卒業コース以外のコースを希望される方」の決定後、定員に達していない場合に限り、抽選により決定します。

(3) 退学者で再入学を希望される方（※入学後1年以内の退学者は上記「(2)(A)」にて選考。）

上記「(1)」及び「(2)」の決定後、定員に達していない場合に限り、抽選により決定します。

6. 結果発表・入学手続等

(1) 結果発表

- ① 入学者として決定した方および補欠候補者の受付番号を令和8年2月12日（木）午前10時にシルバーカレッジ事務局前に掲示し、ホームページにも掲載します。
- ② 出願者全員に結果通知および入学者として決定した方には入学手続に関する資料をお送りします。
※2月24日（火）までに通知が届かない場合は、シルバーカレッジ事務局までお問い合わせください。

(2) 入学手続

- ① 入学確認書もしくは辞退届、および必要書類を返送してください。
（3月3日（火）＜当日消印有効＞） ※返送がない場合は辞退とみなします。
- ② 期日までに入学金を納付していただきます。（3月上旬の予定）

(3) 補欠入学者の結果発表

- ① 欠員が生じた場合、補欠候補者から補欠入学者を決定します。
入学意思の確認のため、お電話で連絡いたします。**（3月12日（木）午後1時から午後5時）**
※連絡がつかない場合は次点者を繰り上げします。
- ② 上記①の決定後に欠員が生じた場合は追加の補欠入学者を決定します。
入学意思の確認のため、お電話で連絡いたします。**（3月18日（水）午後1時から午後5時）**
※連絡がつかない場合は次点者を繰り上げします。

7. 入学式等

(1) 入学式・オリエンテーション

令和8年4月8日（水）午前10時30分～午後2時30分（予定）

(2) 新入生学園生活説明会

令和8年4月9日（木）午前10時30分～午後2時30分（予定）

(3) 学習予定表

1学期の登校日・学習予定の一覧（学習予定表）を入学式当日にお渡しします。
※事前にシルバーカレッジホームページでも確認できます。（3月中旬に掲載予定）

8. 個人情報の取扱いについて

入学願書、エントリーフォームに記載された個人情報は、学生募集事務および入学された方の学籍管理事務および地域交流グループ名簿に使用し、その他の目的には使用しません。

9. その他

当該事業は、令和8年度神戸市一般会計予算の成立を前提に行うものであり、予算が成立しない場合には事業を実施しない、または変更することがあります。入学金および受講料も変動することがあります。

学校説明会の開催 ※事前申込制

出願期間中、学校説明会を開催します。シルバーカレッジの概要の説明と校内施設等の見学を行います。

開催日	令和8年1月20日（火）・21日（水）・22日（木） <3日間>
開催時間	①午前10時～12時、②午後1時～3時
会場	シルバーカレッジ2階 学習室8
定員	各40名（先着順）

学校説明会に参加希望の方は、電話またはFAXにて事前にお申し込みください。

電話：078-743-8100 FAX：078-743-8103

FAXの方は氏名、電話番号、FAX番号、第1希望日、第2希望日をご記入ください。

神戸市シルバーカレッジの概要

1. 開 校 平成5年9月

2. 設 置 者 神戸市

3. 学 長 前田 潔

4. 学習課程

- ① 学習期間 3年間（土曜日・日曜日・祝祭日は休み、夏季・冬季・春季休みあり）
- ② 学習課程 学年ごとのコース・専攻単位で行う専門授業および学年単位で行う共通授業・スポーツ授業〔講義・実技〕を受講します。
3年生では通常の授業とともに、グループに分かれ自らテーマを設けて学習するグループ学習を行います。
- ③ 授 業 おおむね週2日、年間60日
コース・専攻、学年ごとに定められた基本曜日に登校します。
授業時間 午前10：30～12：00・午後1：00～2：30
・専門授業は原則として1日（午前・午後）を基本とします。
・共通授業、スポーツ授業は原則として半日を基本とします。

④ 基本曜日

学年 \ 曜日	月	火	水	木	金
1年生	健康ライフ (美術・工芸)	ECOライフ 美術・工芸 音楽文化 食文化	共通 スポーツ(講義) (美術・工芸)	国際交流・協力 園芸	(国際交流・協力) (共通)
2年生	美術・工芸 園芸	共通 スポーツ(講義) (健康ライフ) (美術・工芸)	音楽文化 食文化 (共通) (スポーツ(講義))	ECOライフ (健康ライフ) (国際交流・協力)	健康ライフ 国際交流・協力 (美術・工芸)
3年生	国際交流・協力 食文化	共通 スポーツ(講義) (美術・工芸)	美術・工芸 (共通)	健康ライフ (美術・工芸) (食文化)	ECOライフ 音楽文化 園芸

※令和8年度は、上記の基本曜日が変更になる場合があります。

※講師の都合により、基本曜日以外の曜日に授業を行う場合があります。

※() は、基本曜日以外に授業が行われる可能性があるコース・専攻です。

※スポーツ〔実技〕…… 基本曜日を設定していませんので不特定の曜日になります。

※美術・工芸…… 授業日以外にも陶芸窯の当番等で登校する場合があります。

※音楽文化…… 授業日以外にも自主練習等で登校する場合があります。

※園芸…… 授業日以外にも栽培管理等のために交代で登校します。
(土日祝、夏季、冬季、春季休み期間中を含む)

(参考) 令和7年度 健康ライフコース 学習課程

学習のねらい

健康について身体的、精神的、社会的な側面から学び、自らの健康について主体的にかかわり、健康寿命の延伸を図るとともに、地域におけるさまざまなレベルでの参加・貢献を目指します。

学習課程編成方針

- 健康について総論および健康、医療、地域生活・社会参加の各分野から学びます。
 - ・総論 健康について身体的、精神的、社会的側面から総合的に学ぶとともに地域への参加・貢献のあり方について学ぶ。
 - ・健康 自らの健康づくりについての必要な知識、技術を学ぶ。
 - ・医療 健康の保持増進に必要な医療的な知識を学ぶ。
 - ・地域生活・社会参加 健康な社会生活、地域への参加・貢献のための知識を学ぶ。
- グループで学び活動するための必要な知識や技術を体験的に学び、身につけます。
- グループごとに関心のあるテーマに沿って自主的に調査・研究し、学びの集大成とするとともに、卒業後の地域への参加・貢献につながる方向性を見出します。
- フレイル予防、認知症サポート、市民救命などの社会貢献につながる技術を身につけます。

	1 年生	2 年生	3 年生
学年目標	①健康を身体的、心理的、社会的な側面から総合的に学ぶ。 ②健康づくりに必要な生活上の知識や医療的な知識、社会参加に必要な知識を学ぶ。	①健康の保持増進のための学びを深める。 ②地域における健康づくりについて関心を深める。	①関心のあるテーマについてグループで学習し、その成果を卒業後の生活や活動に活かす。
学習内容	総論 ・医療 ・予防医学 ・健康づくり ・社会福祉 健康 ・フレイルチェック ・エクササイズ ・ウォーキング ・脳トレーニング ・運動機能の維持向上 ・ポジティブ心理と健康 ・自然と健康 ・音楽と健康 ・睡眠 ・食と栄養 ・モノの整理は心の整理 医療 ・東洋医学 ・リハビリテーション ・生活習慣病 ・メタボリックシンドローム ・感染症 ・口腔ケアⅠ ・健康診断結果の見方 ・ストレスの解消 ・ケアの基本 地域生活・社会参加 ・介護保険と介護サービス ・ICT入門 ・聴覚障がい理解と手話 ・視覚障がい理解とガイドヘルプ ・認知症サポーター養成講座 ・コミュニケーション演習 校外学習 ・森林植物園 学年間の交流 ・卒業生からのお話	総論 ・地域福祉 ・人生100年時代 ・ユニバーサルデザイン 健康 ・ポールウォーキング ・ピラティス ・エクササイズ ・川柳 ・色彩、薬と健康 ・笑い健康 ・調理実習 ・動物と癒し ・食の安全 医療 ・東洋医学 ・在宅医療 ・外科 ・整形外科 ・口腔ケアⅡ ・こころの病気 ・認知症予防 ・アルコールとのつきあい方 地域生活・社会参加 ・成年後見 ・高齢者と住まい ・視覚障がいの理解と点字体験 ・防災意識を高める ・ICT応用 ・グループワーク ・タウンウォッチング 校外学習 ・布引ハーブ園 学年間の交流 ・卒業生からのグループ学習のお話	グループ学習 ・学習の意義と方法 ・テーマの設定 ・調査・研究 ・フィールドワーク ・学習成果の発表 ・学習のまとめの作成・印刷 健康 ・エクササイズ ・筋力トレーニング ・食の安全 ・冬の過ごし方 医療 ・東洋医学 ・薬、放射能と健康 ・眼科 ・泌尿器科 ・口腔ケアⅢ 地域生活・社会参加 ・エンディングへの備え ・グループとコミュニケーション ・レクリエーション ・市民救命士講習 ・園芸療法 校外学習 ・喜楽館

(参考) 令和7年度 国際交流・協力コース 学習課程

学習のねらい

グローバル化が進展した現代社会において、私たちの生活も大きな変化を経験しています。

国際交流・協力コースでは、我が国と関わりのある諸外国についての理解を深めつつ、世界で生じている現代的な課題を学びます。さらに、多文化共生社会の意義と課題を学習し、多様化する地域社会で主体的に国際交流・協力分野での活動に参加する姿勢を育てます。

学習課程編成方針

1. 政治経済、環境、歴史等の各分野から国際理解のための基礎知識を体系的に学習します。
2. 在日外国人の実情や国際交流・協力を実践している団体の活動について学び、外国人との交流や支援等に対する理解を深めます。
3. 我が国と関わりのある各国の事情等に対する理解を深め、相互理解の重要性を認識します。
4. 学習の集大成として、グループごとにテーマを設定して、各自の知識、経験を活かした自主的な調査・研究を行い、その成果を国際交流・協力への参画と実践につなげていきます。

	1 年生	2 年生	3 年生
学年目標	①外国人との交流や国際協力団体の活動を知ることで、異文化理解を深めます。 ②地球規模の諸問題が私たちの生活に及ぼす影響について学びます。 ③近隣国を中心に各国事情を知り、国際社会に関する理解を深めます。	①世界情勢をより深く理解するために、国際関係の歴史や現状等の基礎知識を学ぶとともに、様々な課題に対する国際機関の役割について学びます。 ②米国など日本と関係の深い諸国の各国事情を知り、国際社会に関する理解を深めます。	①自分たちができる国際交流・協力について、グループごとにテーマを設定し協力して調査・研究を進めます。 ②その成果を卒業後の国際交流・協力活動につなげていくことをめざします。
学習内容	多文化共生社会 ・日本語のコミュニケーション ・コミュニケーション論 ・外国人児童への日本語教育 ・日本語の教え方 ・日本における外国人との共生 ・在日・在神ベトナム人の今 ・文化人類学と異文化理解 ・イスラームの基礎知識と中東の諸問題 ・留学生との交流 国際協力団体 ・PHD協会 ・アジア女性自立プロジェクト ・ひょうごラテンコミュニティ ・元JICA海外協力隊体験談 グローバル化と私たちの生活 ・日本と世界の食料事情 ・アフリカで見た紛争と貧困 ・アジアの社会保障制度 ・ジェンダー&LGBTQ+ 各国事情 ・韓国事情 ・韓国政治と日韓関係 ・中国の国家観&国家思想と民族政策 ・グローバルサウスと経済大国インド 日本と海外の交流 ・神戸市の国際交流・多文化共生の取組み ・美術に見る国際交流 校外学習 ・JICA関西 ・神戸華僑歴史博物館	多文化共生社会 ・日本語ボランティアの実際 ・イスラームの心と国際協力&サウジアラビア グローバル化と私たちの生活 ・地球環境とエネルギー 国際関係 ・国家の歴史・国際関係の現在・歴史 ・戦後の日本外交 ・アジアをめぐる東西交渉史 ・民族紛争・ミャンマー難民との共生 ・アセアンを知る・難民問題を考える ・国際機関と人道支援 ・国際政治における国際組織の役割 ・国際社会の安全保障体制と日本&核兵器の国際法上の違法性 各国事情 ・アメリカ事情 ・インド事情 ・中国事情 ・ブラジル事情 ・アフリカ事情 日本と海外の交流 ・小泉八雲の神戸と神戸外国人居留地物語 グループ学習に向けて ・ソーシャルキャピタルの構築 ・レポートの準備 ・先輩の経験談 校外学習 ・旧居留地・神戸港 ・市立中央図書館	グループ学習 ・テーマの設定 ・グループの形成 ・プロフェッサーによる指導 ・課題の調査、研究 ・国内外へのフィールドワーク ・論点の整理 ・プレゼンテーションの制作 ・学習成果の発表会実施 ・学習のまとめの作成、印刷 多文化共生社会 ・留学生との交流 ・卒業生の活動 各国事情 ・ロシアとウクライナ ・イギリスの奴隷貿易 ・イギリスの移民政策 ・EUを取り巻く課題と展望 ・ヨーロッパ諸国の外交戦略・安全保障政策 校外学習 ・市立博物館

(参考) 令和7年度 ECOライフコース 学習課程

(令和6年度入学者より生活環境コースから名称変更となりました)

学習のねらい

くらしと環境のかかわりに気づき持続可能な社会づくりに貢献できる人を目指します。

学習課程編成方針

1. 時代の変化や専門性を意識し、興味や関心のあるテーマを主体的に探究、考察する力を伸ばします。
2. ECOライフってどんな暮らし？をテーマに環境活動に参画することで、地域に貢献できる力を磨きます。
3. 自然観察体験、エコクッキング実習、多彩な校外学習など仲間と共に五感で学ぶ授業を通して、楽しみながら知識を広げます。

学習の4つの柱

- ①脱炭素社会づくり ②自然共生社会づくり ③資源循環社会づくり ④地域環境（ECO）づくり

	1 年生	2 年生	3 年生
学年目標	①コースを知ろう（3年間の学び、テーマ） ②アイスブレイキング（仲間を知って打ち解けよう）	①学生生活の中心として、学びを深めよう ②グループ学習に向けて準備をしよう	①興味関心あるテーマについて積極的に学んでいこう ②これからの私をイメージしよう
学習内容	総 論 ・環境問題と私の関わり（ECOライフってどんな暮らし？） ・人口問題とジェンダー 脱炭素社会 ・命を守る気象災害への備え ・世界の最新エネルギー動向 自然共生社会 ・しあわせの村を知ろう（植物観察、バードウォッチング、馬事公苑） ・土壌動物調査体験 生態系と循環と人間 ・神戸の森を考える ・暮らしに関係あるの？生物多様性って 資源循環社会 ・プラスチック問題を考える ・神戸市 災害に強い水道づくり 地域環境 ・健康と環境に良い住まいとは ・エシカル消費が世界、社会を変える（買い物ワークショップ） 総合学習 ・オリエンテーション&アイスブレイキング ・エコクッキングとは？レシピづくり&調理実習（食品ロス） ・大学生とECOで交流 校外学習 ・体感しよう 六甲山&ミーツアート ・人と自然の博物館 特別セミナー ・外来生物展示センター	総 論 ・「モノ」の一生から見た環境負荷 ・核と日本人～ヒロシマ・ゴジラ・フクシマ～ 脱炭素社会 ・水素スマートシティ神戸構想 ・再生可能エネルギー（世界、日本） ・誰でもできる 省エネ、節電 ・ひとと環境にやさしい交通／まちづくりを考える 自然共生社会 ・神戸の絶滅危惧種とその保全 ・なぜ野生動物は市街地に出没するのか ・お魚を愉しむ（魚文化を考える） 資源循環社会 ・神戸の漁業について シラス水揚げ 地域環境 ・六甲山グリーンヘルスツーリズム 総合学習 ・エコクッキング ステップアップ編 調理実習（地産地消に取り組もう） 校外学習 ・資源リサイクルセンター見学 ・弓削牧場とバイオガス施設を見学 ・あいな里山公園 ・森林植物園 グループ学習 ・実践 チームリサーチ&発表	グループ学習 ・テーマ設定、グループづくり ・サポーターによるアドバイス ・グループ毎に調査開始 ・フィールドワークに出かけよう ・学びの成果をプレゼンしよう ・論文集「学習のまとめ」作成 総 論 ・環境コミュニケーションと私たちの暮らし（グループディスカッション含） ・南極発リメイク料理のお味は？極限生活から考えるSDGs ※オンライン講義 資源循環社会 ・ゼロウェイスト社会を目指して 地域環境 ・アスベスト 現状と課題 ・EAT LOCAL KOBEの活動と市民との連携 ・六甲山を通じて考える国立公園 総合学習 ・3年間の学生生活を振り返る ・エコクッキング パーティ企画&調理実習 校外学習 ・有機農業施設「グランメール」80歳有機栽培実践家に聞く “土と野菜の話”&収穫体験

総合芸術コース 学習課程

総合芸術コースの学習のねらい

1. さまざまな創作活動に取り組み、表現の喜びを味わい、文化の伝承に努めることをめざします。
2. 共に学びあうグループ学習を中心として、こころ豊かな家庭や地域社会に寄与することをめざします。

	1 年生	2 年生	3 年生
学年目標	総合芸術（各専攻）の基礎を理解し、体験学習の喜びを味わう。	基礎からステップアップをめざし、展開のある創作活動、実践活動につながるよう学びを拡げる。	共に考え、話し合い、協働で創造していく喜びを味わい、地域還元を考える。

(参考) 令和7年度 美術・工芸専攻 学習課程

	1 年生	2 年生	3 年生
学習内容	美術 ・美術概論について学ぶ（感性、構図、色彩、作品テーマを知る） ・鉛筆画・淡彩画の制作 ・木版画（一版多色刷り）制作 ・デッサンの実習 ・切り絵 ・油絵、アクリル画の絵具の説明と実技 陶芸 ・粘土から陶器へ 実習を中心に陶芸の流れを学習する土練り、成型／手びねり・たたら作り・ひも作り／削り、白化粧、素焼き、下絵付、釉薬がけ、本焼き	美術 ・油絵、アクリル画で人物画および静物画・風景画を制作 ・パステル技法研究 ・クリアグラフ制作 ・落款印を作る ・自主制作 陶芸 ・制作技法を深める学習 - 手びねり・ひも作り・たたら作り・電動ろくろ ・装飾技法 ・色釉を使った作品 ・絵付けのためのスケッチ ・上絵付 ・使う作品・見る作品 校外学習 ・美術館で兵庫・神戸の美術作品にふれる	美術 ・ドライポイント（凹版）の制作 ・木版画（凸版）の制作 ・画文集制作 ・卒業制作（学びの総括） 陶芸 ・個人卒業作品制作 ・グループ学習 ・電動ろくろ ・土鍋の制作 ・技法演習 校外学習 ・美術館で兵庫・神戸の美術作品にふれる

(参考) 令和7年度 音楽文化専攻 学習課程

	1 年生	2 年生	3 年生
学習内容	音楽理論 ・音符、リズム、音階、音楽用語 音楽文化 ・音楽の役割 ・音と音楽 ・音楽の文法 ・音楽史 ・合唱音楽の歴史 ・音響学Ⅰ 民族音楽 ・民族音楽の諸相 合唱 ・呼吸法 ・発声、歌唱実技 ・合唱実習（全学年合同） 合奏 ・打楽器アンサンブル 実技鑑賞 ・声楽、管弦楽器、民族楽器 楽器について ・フルート	音楽文化 ・オペラ ・管弦楽 ・音楽療法 ・音楽史 ・音響学Ⅱ ・映画音楽史 ・ミュージカル映画 ・20世紀の音楽Ⅰ 民族音楽 ・日本の民謡、民俗芸能 合唱 ・合唱実習（全学年合同） 合奏 ・打楽器、和太鼓 実技鑑賞 ・声楽、管弦楽器、民族楽器 楽器について ・ピアノ、マリンバ、箏	音楽文化 ・音楽の様式と形式Ⅰ～Ⅲ ・20世紀の音楽Ⅱ 民族音楽 ・諸民族の音楽 合唱 ・合唱実習（全学年合同） 実技鑑賞 ・声楽、管弦楽器、民族楽器 卒業発表 ・合唱：全員 ・合奏：選択 ※パーカッション・アンサンブルまたは和太鼓合奏のいずれかを選択

(参考) 令和7年度 園芸専攻 学習課程

	1 年生	2 年生	3 年生
学 習 内 容	シリーズ学習 ・植物を育てる ・花壇園芸 ・植物の生育と環境 栽培基礎知識 ・殖やし方、鉢花、病虫害、家庭菜園、果樹作り、花木、在来作物、野菜栽培、薬用植物 自主学習 3 学年合同 ・合同授業 校外学習 ・植物園等花木を鑑賞する	シリーズ学習 ・菜園管理 ・家庭果樹の作り方 ・コンテナ栽培 花 卉 ・花壇管理、ラン、山野草、鉢花栽培、バラ、薬用植物、球根 レポート作成 ・データ解析 自主学習 3 学年合同 ・合同授業 校外学習 ・植物園等花木を鑑賞する	シリーズ学習 ・グループ学習 (栽培計画、圃場管理、栽培、結果の整理とまとめ、発表) ・四季の庭管理 ・園芸へのアプローチ ・花壇管理 境界領域分野 ・ロックガーデン、フラワーアレンジメント、苔テラリウム、野菜と調理、花と食の文化史、六甲山系の植生、園芸福祉、造園、芝生管理、薬用植物 樹 木 ・剪定実習、花木 自主学習 3 学年合同 ・合同授業 校外学習 ・神戸市立森林植物園

(参考) 令和7年度 食文化専攻 学習課程

	1 年生	2 年生	3 年生
学 習 内 容	調理実習 ・計る、切る、だしを取る、調味料と味付け、旬の食材の利用など、調理の基礎を学ぶ ・和、洋、中各専門講師に各料理の基礎知識や調理技術を学ぶ ・洋菓子の基本調理 ・調理の意義・役割について 食文化概論 ・日本の食文化を理解する ・食と健康の関わりを知る	調理実習 ・和、洋、中 各専門講師に応用的な調理の知識と技術を学ぶ ・バランスのとれた献立作り ・郷土料理 ・行事食 ・人を招くことの大切さ、もてなし術について ・本物を知る（瀬戸内の魚） 食文化概論 ・世界の食文化を理解する ・食と健康の関わりを考える	調理実習 ・グループ学習に取り組む テーマ／調査／情報収集／実習／まとめ／発表 ・調理指導の演習 ・安全性、嗜好性を高める調理 食文化概論 ・日本の食文化を見直し食文化の多様性を理解する ・食を通じた健康づくりの実践を考える

神戸市シルバーカレッジ 講師（敬称略・五十音順）

※令和7年度より抜粋しています。

※令和8年度は変更になる場合があります。

【専門授業（コース・専攻別）】

健康ライフコース

職 名	氏 名
医療法人社団関田会 ときわ病院 歯科口腔外科 部長	足立 了平
川柳作家	大西 泰世
関西学院大学 名誉教授	大和 三重
落語家	桂 福丸
神戸市保健所 所長	楠 信也
新須磨病院 理事長	澤田 勝寛
公益財団法人 神戸YMCAコーディネーター 健康運動指導士	竹内 尚美
島根大学 客員教授	田中 直人
神戸市看護大学 教授	谷 知子
神戸市外国語大学 准教授	常行 泰子
森ノ宮医療大学大学院 教授、鍼灸鴻仁	長野 仁
兵庫県予防医学協会 副会長、健康ライフプラザ 健診センター長、東京医科歯科大学 名誉教授	平田 結喜緒
兵庫医科大学 薬学部医療薬学科 教授	藤野 秀樹
流通科学大学 人間社会学部 教授	西村 典芳
一般社団法人 兵庫県理学療法士会 副会長	山本 克己
甲南女子大学 人間科学部 教授	山本 存

国際交流・協力コース

職 名	氏 名
神戸大学大学院国際文化学研究科 教授	青山 薫
ひょうごラテンコミュニティ 代表	大城 ロクサナ
神戸市外国語大学 名誉教授	大塚 秀之
神戸大学 名誉教授	岡田 章宏
神戸大学大学院国際協力研究科 教授	木村 幹
兵庫大学現代ビジネス学部 教授	斎藤 正寿
早稲田大学法学学術院 教授	渋谷 謙次郎
関西学院大学総合政策学部 教授	清水 康子
関西学院大学 非常勤講師	杉山 精一
京都大学 名誉教授	高橋 基樹
神戸大学大学院法学研究科 教授	竹内 真理
同志社大学政策学部 教授	月村 太郎
国際ファッション専門職大学 講師、ドキュメンタリー映画監督	直井 里予
神戸学院大学 名誉教授	野口ジュディー津多江
神戸大学 名誉教授	水野 マリ子
流通科学大学経済学部 准教授	村上 友章

ECOライフ／生活環境コース

職 名	氏 名
地域づくりファシリテーター	浅見 真一
ライフデザイン研究所FLAP 主宰	岩木 啓子
野菜ソムリエ上級プロ	川上 マユミ
京都工芸繊維大学 名誉教授	木村 照夫
NPO法人こども環境活動支援協会	戸田 耿介
非営利活動法人気候ネットワーク 上席研究員	豊田 陽介
元甲南女子大学 人間科学部 教授	中野 加都子
神戸大学大学院 農学研究科 准教授	長野 宇規
かがく教育研究所	髯本 格
兵庫県立大学 名誉教授、北摂里山大学 学長	服部 保
神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授	松岡 広路
社会構想大学院大学先端教育研究所 特任教授、桜美林大学 教育探究科学群 特任教授	松本 朱実
神戸大学 名誉教授	保田 茂
兵庫県立大学 教授	横山 真弓
自然エネルギー市民の会 代表、元日本環境学会会長	和田 武
第57次南極観測隊・調理隊員	渡貫 淳子

総合芸術コース 美術・工芸専攻

職 名	氏 名
陶芸家	赤松 真木
丹波焼 悟窯 日本工芸会正会員	市野 哲次
神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授	岸本 吉弘
兵庫教育大学 非常勤講師	鋤田 和見
神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 准教授	勅使河原 君江
篆刻家	古溝 幽哇

総合芸術コース 音楽文化専攻

職 名	氏 名
神戸大学 名誉教授	岩井 正浩
武庫川女子大学 音楽学部 助手 音楽療法士	植村 真帆
神戸学院大学 人文学部 教授	宇野 文夫
神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授	大田 美佐子
邦楽演奏家	折本 大人樹
大阪芸術大学 講師	吉良 武志
神戸大学 名誉教授	斉田 好男
神戸大学大学院工学研究科 建築学専攻 教授	阪上 公博
同志社女子大学 講師	坂本 恵子
京都文化博物館 映像情報室 臨時職員	肥山 紗智子
ピアニスト	中村 真実
神戸大学国際人間科学部 非常勤講師	前田 裕佳
声楽家	町田 百々子
和太鼓松村組 和太鼓奏者	松村 公彦
神戸マリンバソサエティ 主宰	宮本 慶子
兵庫県合唱連盟副会長・合唱指揮者	矢田 正一
打楽器奏者	山中 佑起子
兵庫県立大学 講師、音楽評論家	横原 千史
フルート奏者	吉岡 美恵子

総合芸術コース 園芸専攻

職 名	氏 名
大阪府フラワー装飾技能士会 理事	石田 三貴子
園芸アドバイザー	大野 晶則
古代民俗研究所 所長	大森 亮尚
元神戸薬科大学薬用植物園、塩野義製薬 油日植物園 技術顧問	沖 和行
神戸大学大学院農学研究科 准教授	金地 通生
咲くやこの花館 名誉館長	久山 敦
元兵庫県農業技術センター職員	小林 保
庭樹園 園主	阪上 栄樹
(株) 万花園	阪上 広和
兵庫県立大学 緑環境景観マネジメント研究科 兵庫県立淡路景観園芸学校 講師	樋上 啓子
兵庫県立人と自然の博物館 名誉館長	中瀬 勲
フラワーソサイエティー 会長	長村 智司
伴園芸 代表	伴 薫
兵庫県立農林水産技術総合センター 農産園芸部 研究員	水田 泰徳

総合芸術コース 食文化専攻

職 名	氏 名
管理栄養士	伊藤 ひで
シェフパティシエ	上田 真嗣
有限会社 玄斎 代表取締役	上野 直哉
野菜ソムリエ上級プロ	川上 マユミ
フレンチレストラン 芦屋・次郎	小久江 次郎
KSC神出豆腐の会	
広東料理	張 千代
大雄寺 住職	永代 昌宏
神戸女子大学 名誉教授	堀田 久子
神戸松蔭女子学院大学人間科学部食物栄養学科 非常勤講師	本多 佐和子
元神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科所属	松浦 紀美恵
元神戸女子大学家政学部 准教授	安田 敬子
お魚アドバイザー	山崎 清張

【共通授業（全コース）】

職 名	氏 名
明石市立天文科学館 館長	井上 毅
福島県立医科大学 医学部疫学講座 主任教授	大平 哲也
神戸学院大学経済学部 教授	岡部 芳彦
兵庫県立大学環境人間学部 教授	木村 玲欧
mottoひょうご 事務局長	栗木 剛
国立民族学博物館 名誉教授	関 雄二
ラテン系パーカッショニスト、ドラマー	チーチョ西野
認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長	中村 順子
神戸市混声合唱団	

【スポーツ授業（全コース）】

職 名	氏 名
大阪大学・神戸女学院大学 非常勤講師	川窪 淳子
関西国際大学 経営学部経営学科 教授	高見 彰
摂南大学 現代社会学部 講師	谷 めぐみ
神戸大学、神戸松蔭女子学院大学 非常勤講師	益富 真子
兵庫県立大学国際商経学部 教授	松村 浩貴
神戸大学 名誉教授	山口 泰雄

（五十音順・敬称略）



各コース・専攻の在学生（3年生）が
自分たちのコースを紹介します。

健康ライフコース

人生100年時代と言われる中、心身の健康を維持し、健やかな生活を送るためには、質の高い睡眠・バランスの良い食事・定期的な運動など自立した老後を送らなければなりません。

「健康ライフコース」では、健康で充実したシニアライフを生涯送るための知識と実践を通して、高齢化社会を送るための学びの場です。

健康づくりに必要な知識・予防・技術、フレイルチェック後の予防・医療的な知識、グループで学び地域への社会参加、グループごとのフィールドワークで調査・研究・発表など仲間と協力し、唯一無二の人間関係を育み、生涯にわたる健康を学習することができるコースです。

ぜひ、皆さんも健康で有意義なものにしましょう。

松田 秀一さん

国際交流・協力コース

「国際交流・協力コース」では、現在30期生57名、31期生39名、32期生47名が在籍し（2025.09.16現在）、世界の国々との関係や地域・各国の現状などを学びながら、国際交流やボランティア活動についても知ることができます。

さらに、民族やエネルギー問題、多文化共生社会など身近で気になるテーマも取り上げられます。シニア世代としての様々な経験を活かしながら、日本や世界についての話を聞いたり、アジアの人たちと交流したりすることは、貴重な体験です。

また、3年生のグループ学習では、海外や国内の現地調査にも取り組み、世界とのつながりを実感できます。

新しい友達と一緒に楽しく、充実した時間を過ごしながら、国際的な視野を広げてみませんか！

寺沢 優一 さん

ECOライフ／生活環境コース

令和6年に生活環境コースからECOライフコースに名称変更され、更に充実した授業プログラムが展開されています。

ECOライフコースでは、授業を通して、世界的に大きな社会問題であり私達の生活に大きな影響を及ぼす環境問題の知見、新たな気づきをさまざまな視点から得ることができます。

また座学だけではなく、校外学習、エコクッキングなどの楽しい授業もあります。

今後、私達が日常生活を環境問題に少しでも関心を持って過ごし、より良い社会を作っていくために貢献する意識も芽生えてきます。

新たな気づき、知識を得ることは何歳になっても新鮮であります。3年間、知的好奇心を刺激しながら仲間とともに学んでみませんか。

石田 憲一郎 さん

総合芸術コース

美術・工芸専攻

「絵画を描く、陶器を作る、そんな才能なんてないわ」と思っている貴方。才能なんて必要ありません。若かりし頃、美術館でモネの絵を見てうっとりしたことは？和食のお店で素敵なお皿を見てワクワクしたことは？あんな絵を描いてみたい、こんな陶器を作ってみたいとちょっとでも思ったことがある貴方。それだけで美術・工芸専攻に入学出来る資格があります。

3年間の学習は、その後の絵画制作、陶芸作陶人生の一步を踏み出すための大事な礎となります。美術の授業では、水彩、油彩、版画、切り絵、篆刻など著名な先生のご指導を受け、自分の興味を引き出してくれます。陶芸では、手びねりのお碗から始まり、湯飲みや急須など電動ろくろにもチャレンジして、これまでに中々経験できなかった世界を垣間見ることが出来ます。

さあ、貴方も美術・工芸専攻に応募して、これから始まる美工ワールドを体感してみませんか？

内田 裕幸 さん

音楽文化専攻

音文の3年間は合唱に始まり合唱で終わります。音楽の楽しさ歓びを満喫し、まだみぬ友と心を通わせ結束力が生まれます。

講義は楽譜の読み方を始め音楽全般を学び合唱実技もあります。試験はありません。

実技鑑賞はピアノ、フルート、マリンバ、箏、二胡、揚琴、声楽（ソプラノ・テナー・バリトン）等があり、第一線で活躍されている現役のプロです。

入学早々5月に歓迎交流会、10月に学園祭、2月に歓送交流会があり、クラスで選曲し放課後に練習です。3学年合同合唱では音文生同志の連帯感を感じます。3年生になると合唱に加え、パーカッションと和太鼓に分かれ卒業発表会に向け活気づきます。

さあ！私達と一緒に、音楽に触れて若返りませんか。

佐々木 保麿 さん

園芸専攻

苗から花や野菜を育てた経験のある方は多いと思いますが、種から育てた方は少ないのではないのでしょうか？私も小学生時代に朝顔を種から咲かせた記憶があるだけでした。

園芸コースでは入学後すぐに二十日大根の種蒔きをします。種から双葉が出た時の感動は忘れられません。カレッジの入口の花壇・あじさい・バラ・農園のぶどう・ビワなど私たちは授業の一環として先生方・サポーターさん達の指導を受けながら共同作業でお世話をしています。

収穫した野菜を使っでの調理実習・植物園への校外学習などもありグループ学習研究で「うまいメロンをたくさん食べたい！」とメロン作りに挑戦したグループは美味しいメロンをたらふく食べられました。

植物を育てる楽しさ・育てた成果を味わうよろこびを体験できる園芸に取り組んでみませんか？

土屋 博子 さん

食文化専攻

食文化1年生、最初の授業で、衛生管理や食中毒など食の安全、包丁の持ち方や出汁の取り方など調理の基本を学びます。調理実習では、家庭料理の定番「肉じゃが」から始まり、和・洋・中・洋菓子など夫々の専門の講師より料理の基礎から本格料理まで、幅広く教わります。4～5人編成で班が決まり最初は遠慮がちに慣れれば協力し合って調理し、そして出来上がった料理をみんなで美味しく楽しく頂きます。

2年生では、お魚アドバイザーから魚料理の基本（さばき方）を、パティシエからは英国式アフタヌーンティーと難易度アップします。

3年生になれば、グループ学習で献立から調理まで各グループのテーマに沿って学習します。

食を通して失敗や成功を共有し美味しい笑顔で学べるなんて最高です！！

岩井 慶子 さん

交通アクセス（シルバーカレッジ周辺図）



所在地

神戸市北区しあわせの村 1 番16号

●電車・バス利用の場合（鉄道駅からの所要時間）

鉄道駅名	バス種別	バス行き先	ひよどり台 まで	シルバーカレッジ 前まで	しあわせの村病院前 まで
三宮駅前	市バス（66系統）	しあわせの村	約20分	—	約30分
神戸駅前	市バス（65系統）	ひよどり台	約30分	—	—
	阪急バス（150・158系統）	谷上駅・西鈴蘭台駅前・筑紫が丘5丁目	約30分	約34分	約36分
新長田駅前	市バス（17系統）	しあわせの村	約35分	—	約45分
名谷駅前	市バス（120系統）	しあわせの村	約20分	—	約30分
妙法寺駅前	市バス（87系統）	ひよどり台	約20分	—	—
西鈴蘭台駅前	阪急バス（150・158系統）	神戸駅前	約16分	約12分	約10分
谷上駅前	阪急バス（158系統）	神戸駅前	約44分	約40分	約38分

◎最寄りのバス停からシルバーカレッジまでの所要時間（徒歩）

シルバーカレッジ前バス停から 約1分
 しあわせの村病院前バス停から 約7分
 ひよどり台バス停から 約10分

●車の場合

- ◎山麓バイパスひよどりインターから北へ
- ◎阪神高速 7 号北神戸線しあわせの村ランプからすぐ

